

## はじめに

---

あきる野市は、首都東京にありながら、緑豊かな山々や秋川溪谷、秋留台地に広がる農地など、美しい自然やのどかな田園風景を有し、貴重な動植物が多く生息しているまちです。この豊かな自然環境は、私たちに心の豊かさや安らぎをもたらす財産であり、自然と共生できる「環境都市あきる野」の基盤であります。

私はこれまで、「市民と協働のまちづくり」を基調に、郷土の恵みの森づくりや生物多様性の保全などの取組、秋川溪谷などの地域資源を活用した観光まちづくりなどを進め、環境施策と観光施策を連動させた地域活性化に取り組んできました。また、五日市憲法草案や軍道紙、郷土芸能などの素晴らしい伝統・文化をまちの誇りに、自然愛や郷土愛を育みながら「東京のふるさと」づくりを進めています。

こうした中、世界のどの国でも経験のない人口減少と少子高齢化の進展、東日本大震災と原子力発電所の事故、高度経済成長期に整備したインフラの老朽化など、市を取り巻く社会情勢は、大きく変化しています。また、情報通信技術の高度化などにより、“モノ”や“情報”がいつでも容易に入手できる時代となる一方で、地域コミュニティの希薄化などが懸念されます。

このような転換期において、平成27年に市制施行20周年を迎えるあきる野市が成熟したまちとして発展できるよう、選択と集中による着実な行政運営に取り組んでまいります。特に、あきる野のふるさとの魅力を発信し、交流人口の増加と観光産業の発展をめざし、市民が誇りをもてる「観光都市あきる野」の取組を強力に推し進め、将来都市像「人と緑の新創造都市」の実現に向けて、取り組んでまいります。

平成26（2014）年3月

あきる野市長

白井 孝